

特定非営利活動法人 日本ウイグル協会
会長 イリハム・マハティ様

弊社社長の岩屋宛にいただきましたご質問につきまして回答申し上げます。

まず、本年3月、オーストラリア戦略政策研究所（Australian Strategic Policy Institute : ASPI）が発表した報告書で、強制労働を行っているとされている企業と弊社が関連つけられていることにつきまして調査いたしましたところ、該当する取引は確認できませんでした。

弊社および弊社が所属するミネベアミツミグループは購買方針の1つに「CSR調達」を挙げております。この方針に基づき「CSR調達ガイドライン」を作成し、この中で強制労働を明確に禁止しています。新規の取引に当たっては、CSR調達ガイドラインを遵守できることを条件にしており、取引基本契約書においても「CSR調達ガイドライン」の遵守が約束され、万が一違反した場合には契約を即時解除できることになっております。また、サプライヤーには定期的に「CSR調達ガイドライン」の自己チェックシートを実施いただき、違反の無いことを確認しております。弊社としては「強制労働」は決して受け入れませんし、こうした取り組みを継続してまいります。

2020年6月
ミツミ電機株式会社
経営企画部